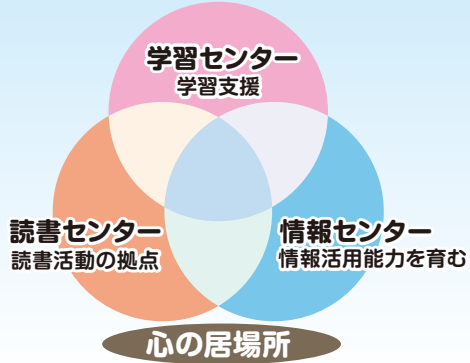


# とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン

策定：平成28年 3月

## 【学校図書館の機能・役割】



## 鳥取県の学校図書館活用教育で目指す方向

児童生徒および教職員の情報や資料の利用の保障 **人と情報を結ぶ(つなげる)**

学習・教育(教育課程)の展開の可能性の拡大 **学びを豊かにする(ひろげる)**

これからの生活・キャリアに対応する力の育成 **未来をつくる(そだてる)**



詳しくはとっとり学校図書館活用教育推進ビジョン・ハンドブックをご覧ください。

問合せ先 学校図書館支援センター(鳥取県立図書館) TEL (0857)26-8155

## 学校図書館を活用することで身に付けたい情報活用能力

	幼稚園・保育所・認定こども園	小学校			中学校	高等学校
		低学年	中学年	高学年		
子どもが育みたい	◆絵本や物語を楽しみ、表現することを楽しむ子ども	◆読書や調べる楽しさを知り、図書館の正しい利用の仕方をつけた児童	◆いろいろな種類の本を読み、課題解決に向けて、友達と関わり合いながら意欲的に学ぶ児童	◆目的に応じて、図書館を適切に利用し、学び方を身に付け、課題解決に向けて主体的・協動的に学ぶ児童	◆主体的に考えて判断し、課題解決に向けて多様な資料から必要な情報を活用することを通して、主体的・協動的に学び続ける生徒	◆将来の進路を見据え、自己実現のための課題解決に向けて、的確な情報を適切に活用することを通して主体的・協動的に学び、自分の考えを表現する生徒
課題の設定と情報収集	○読み聞かせを楽しむ。 ○好きな本を見つけ絵本を楽しみながら読もうとする。 ○友達や先生の話の関心をもって聞くこととする。 ○図鑑を見て楽しく調べようとする。	○身近なことや経験したことなどから興味・関心に応じて学習課題を決める。 ○題名や表紙などに着目して必要な図書を見つける。	○興味・関心に応じて具体的な課題を決める。 ○目的に応じて、複数の資料の中から必要な資料を選ぶ。	○目的を把握し、適切な学習課題を決める。 ○目的に応じて、複数の資料の中から課題解決に役立つか判断し、資料を選ぶ。	○学習課題を解決するための適切な資料や収集方法について考え、具体的な学習課題を立てる。 ○目的や意図に応じて多様な情報源を活用し、必要な各種資料を選ぶ。	○中学校までの知識やスキルを基に学習課題を解決するための資料の読み解きや収集方法について検討しながら、適切な学習課題を立てる。 ○自分の設定した課題が見通しを持って解決できるか考察しながら、根拠となる多様な資料収集の確信を付けることができる。 ○目的に応じて多岐にわたる検索方法で情報の特性を生かした様々な資料を選ぶ。
情報の活用(選択・整理・分析)	○図鑑を見て楽しく調べようとする。 ○友達の思いを受け止めようとする。 ○生活の中で必要な言葉を使おうとする。	○資料の中から目的に合わせて情報を選ぶ。 ○気づいたことや分かったことを記録し、必要に応じて簡単な絵や文で書く。	○二つ以上の情報の中から、目的に合ったものを選ぶ。 ○必要な情報を箇条書きで要点をまとめる。	○複数の情報の中から、適切な方法を使って課題解決に必要なものを選ぶ。 ○事実、引用、要約などと自分の考えを区別して、分かりやすくまとめる。 ○構成、レイアウトを工夫したり、絵や文、グラフ、図や表などを使ったりして、効果的にまとめる。	○複数の情報を目的に応じて比較、分類、関連づけ、多面的・多角的に分析する。 ○様々な情報を比較、分類、単純化したり、情報追加したり、再構築したりする。 ○情報を整理して、目的や意図に応じてわかりやすく要点を押さえて自分の意見の関係を考えとまとめる。	○常に複数の情報を適切に比較、検討、分類し、情報の持つ価値や希少性等を判断しながら情報を選択する。 ○自分の考えとは異なる意見の資料も取り入れ、様々な考えや解釈のあることを理解した上で総合的に判断して活用する。 ○目的に応じて選択した資料を論理的に読み解き、資料を多面的・多角的に分析し自分の課題に関連付けることができる。 ○選択した情報を自分の意見と比較、分析しながら構成を考え、論点をまとめる。
情報の伝達と評価	○考えたことを自分なりに表現しようとする。 ○自分の思ったことを相手に伝えようとする。 ○友達や先生とのコミュニケーションを楽しむ。	○多様な発表方法を体験して表現する。 ○順序に気をつけて、わかりやすく伝える。 ○教師と共に課題を決め、内容の見直しを持って課題解決できたか振り返る。 ○友達の表現のよいところを見つけて感想を伝え合う。	○相手や目的に応じて適切な表現方法を持って計画を立て、課題解決できたら振り返る。 ○自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じて伝達する。 ○具体的な課題を決め、内容の見直しを持って計画を立て、課題解決できたら振り返る。 ○友達の表現のよさについて意見を述べ合う。	○目的や意図に応じて効果的に表現するよう工夫する。 ○考えたことや自分の意図が分かるように、構成を工夫しながら、目的や場に応じて伝達する。 ○課題が適切で、見直しを持って内容や方法について学習を立て、解決することができたか振り返る。 ○学習課題や学習過程について友達の表現のよさを伝えたり、助言したりする。	○表現手段の特徴を理解し、相手や目的、意図に応じて効果を考えて工夫して表現する。 ○情報発信手段としての機器の特徴を理解し、根拠を明確にして効果的に伝達する。 ○課題が明確なもので、課題解決に向けての内容、方法、表現が効果的であったか振り返る。 ○表現、伝達されたものの中から、課題解決のために集めた情報の有効性、必要性、信頼性を判断し話し合う。	○表現手段の特徴を理解し、相手や目的、意図に応じて効果を考えて工夫して論理的に表現する。 ○情報発信手段としての機器の特徴を理解し、根拠を明確にして最も効果的な方法で伝達する。 ○課題設定から調査、発表までの一連の取組みについて、客観的な自己評価を行う。 ○課題設定から調査、発表までの一連の取組みについて、客観的な相互評価を行い、自分の学びにいかす。

学校図書館の利活用に支援を必要とする子どもについては、実態やニーズに応じて、上記の表を活用する。

\*幼稚園指導要領、保育所保育指針、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領、学習指導要領、鳥取県教育振興基本計画を基本に、横浜市教育委員会「学校図書館教育指導計画の手引き」、京都市教育センター「学校図書館の活用を通して付けたい力系統表(小・中学校版)」、松江市学校図書館支援センター「学び方指導体系表」を参考に作成